

自然災害伝承碑の取組状況



水防災意識社会
再構築ビジョン

災害の教訓を 未来に伝える

自然災害が起きた場所には、
その災害を記した石碑が建っていることがあります。
それは、将来起こるかもしれない災害に備えるため
先人達が残した、わたしたちへのメッセージです。

『自然災害伝承碑』とは

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害などの様相や被害の状況などが記載された石碑やモニュメントのことです。
- ◆ おもに被災場所に建てられており、それらを地図に表すことで地域住民への自然災害リスクの認識と防災意識の向上に役立つことが期待されます。

取組のきっかけは西日本豪雨 坂町で撮られた1枚の写真



撮影:大阪府警察



明治40年7月15日に大雨が降り、2本の川が氾濫した。氾濫は唐突に起きたため、人々は逃げる暇がなかった。被害が大きかったのはそのためである。雨がやみ、水が引いた後の河岸に家々はなく、一面見渡す限り土石流で埋め尽くされた。

災害救助活動を行う大阪府警。再び被災した小屋浦地区の住民の多くは、石碑の存在は知っていたが、碑文の内容はあまり知られていなかった。

明治40年の豪雨による洪水・土石流被害を伝える「水害碑」

自然災害伝承碑の地図への表示



国土地理院では、令和元年3月に新たな地図記号「自然災害伝承碑」を制定し、地図に掲載することで、災害教訓の周知・普及に取り組んでいます。

公開中の自然災害伝承碑

658市区町村の2,344基
(令和7年3月27日時点)



公開基数(都道府県別)

	都道府県	基数
1	岩手県	163
2	長野県	104
3	兵庫県	103
4	高知県	102
5	広島県	100
6	神奈川県	99
7	和歌山県	98
8	宮城県	89
9	三重県	83
10	熊本県	77
	～	
27	京都府	32

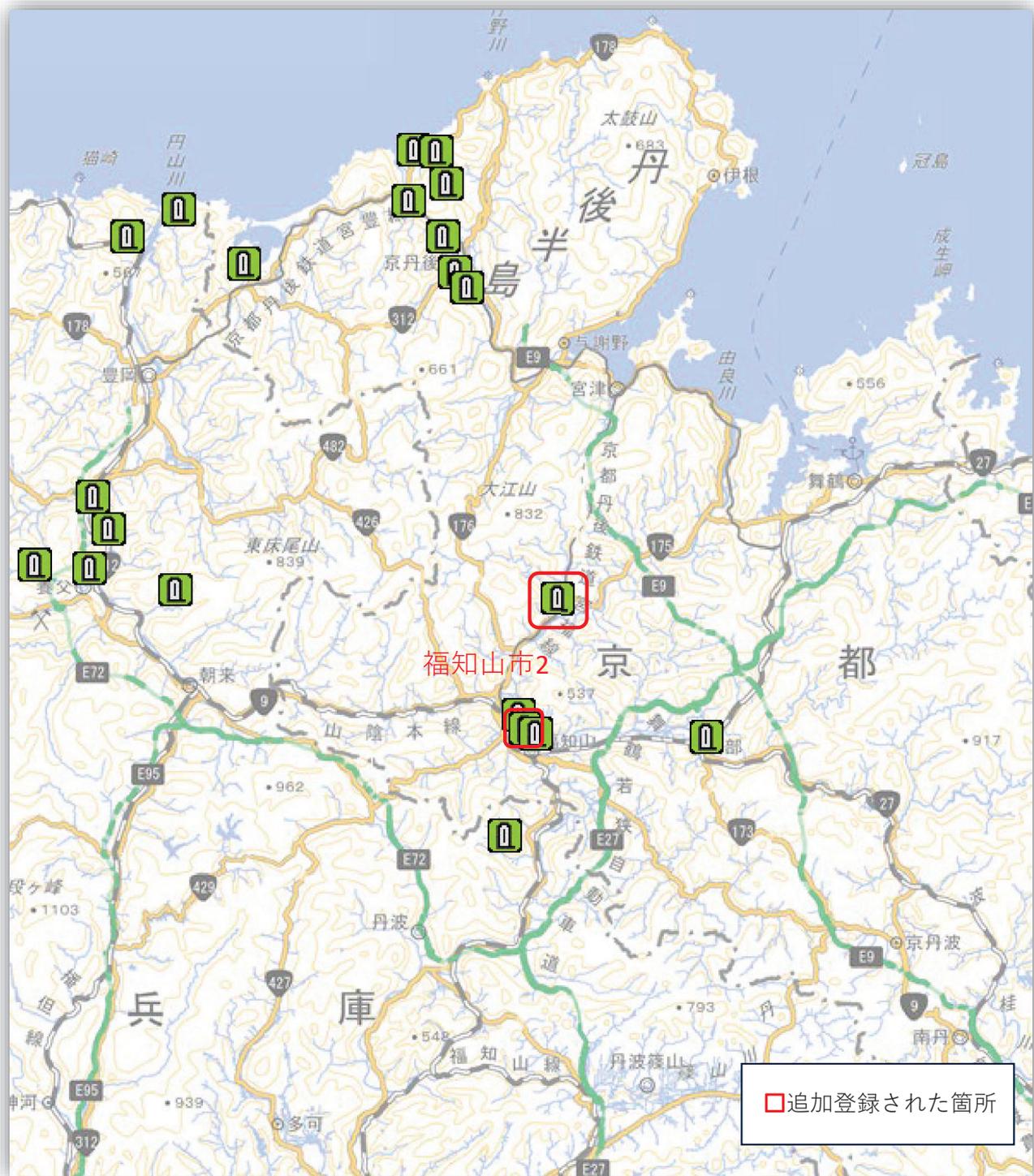
京都府域の自然災害伝承碑(32基) 1/2

各市町村	基数
京都市	2(2)
亀岡市	4(4)
城陽市	1(0)
八幡市	2(2)
木津川市	4(4)
久御山町	1(0)
井手町	2(0)
宇治田原町	1(1)
和束町	1(1)
南山城村	1(1)
その他	13(11)
合計	32(26)



括弧内は令和6年5月30日の基数

京都府域の自然災害伝承碑(32基) 2/2



地理院地図での表示例



地理院地図上のアイコンをクリックすると伝承内容を表示

「水難記念」

南山城水害 京都府綴喜郡井手町大字井手(JR玉水駅)

概要	
碑名	水難記念
災害名	南山城水害 (1953年8月15日)
災害種別	洪水・土砂災害・その他
建立年	1981
所在地	京都府綴喜郡井手町大字井手(JR玉水駅)
伝承内容	昭和28年(1953)8月15日に発生した前降豪雨150mmを超える集中豪雨で、井手町では玉川上流部の旧大正池、二之谷池がほぼ同時に決壊するなどして、107名が犠牲になった。玉水駅の駅舎のホームは河原と化し、垂さ6トンの記念石は、500m東南の玉川から押し流されてきたものである。
制限事項	
ID	26343-001

「宮本水車旧跡碑」

南山城水害 京都府綴喜郡井手町大字井手

概要	
碑名	宮本水車旧跡碑
災害名	南山城水害 (1953年8月15日)
災害種別	洪水・土砂災害・その他
建立年	1968
所在地	京都府綴喜郡井手町大字井手
伝承内容	昭和28年(1953)8月15日未明に発生した集中豪雨で山地部の2つのため池の堤防が崩壊し、洪水が発生した。井手町では107名が犠牲になり、住宅の全壊111戸、流失167戸など、大きな被害を受けた。当地では、文化年中(1804年~1818年)に作られ、精米・製粉に使われていた水車小屋が流失した。
制限事項	
ID	26343-002

■地理院地図 <<https://maps.gsi.go.jp/>>

■自然災害伝承碑についての各種情報紹介ページ

(国土地理院 自然災害伝承碑のページ)<<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>>

📍 地図への掲載には、**市町村のみなさまからの申請**が必要です。

新たな伝承碑の建立や、地図に**掲載のない石碑の情報**がありましたら担当までご連絡ください。

管轄：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

●国土地理院 近畿地方測量部

連絡先 06-6941-4507 (代表) e-mail: gsi-denshou-06-kk@gsb.mlit.go.jp

地理院地図での表示例



地理院地図上のアイコンをクリックすると伝承内容を表示

「巨椋池」

昭和28年台風13号 京都府久世郡久御山町東一口頂場150(久御山 大池神社境内)

概要	
碑名	巨椋池
災害名	昭和28年台風13号 (1953年9月25日)
災害種別	洪水
建立年	不明
所在地	京都府久世郡久御山町東一口頂場150(久御山 大池神社境内)
伝承内容	昭和28年(1953)9月25日の台風13号により、宇治川の堤防が突進して昭和16年(1941)に完成した巨椋池干拓地と周辺が水没した。かつての巨椋池が再現したかのようであった。この碑の頂点は干拓田が水没したときの水位である。
制限事項	ID:26322-001

「渠成治水弥栄郷土」

洪水 京都府城陽市寺田北川顔72

概要	
碑名	渠成治水弥栄郷土
災害名	洪水 (1986年7月21日～22日)
災害種別	洪水
建立年	1990
所在地	京都府城陽市寺田北川顔72
伝承内容	昭和61年(1986)7月20日から22日にかけて、梅雨前線による局地的集中豪雨が京都府南部地域を襲い、古川流域では総雨量321mm、21日未明には時間雨量が70mmを超えた。城陽市では河川の水があふれ、床上浸水99戸、床下浸水1,367戸等の被害となった。
制限事項	ID:26207-001

■地理院地図 <<https://maps.gsi.go.jp/>>

■自然災害伝承碑についての各種情報紹介ページ

(国土地理院 自然災害伝承碑のページ)<<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>>

📍 地図への掲載には、**市町村のみなさまからの申請**が必要です。

新たな伝承碑の建立や、**地図に掲載のない石碑の情報**がありましたら担当までご連絡ください。

管轄：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

●国土地理院 近畿地方測量部

連絡先 06-6941-4507 (代表) e-mail: gsi-denshou-06-kk@gxb.mlit.go.jp

自然災害伝承碑の今後の登録予定について

以下の2箇所（井手町内）については令和7年度中に登録予定である。

「記念碑」

南山城水害(1953年8月15日) 京都府綴喜郡井手町大字多賀(高神社)



「水難者慰霊塔」

南山城水害(1953年8月15日) 京都府綴喜郡井手町大字井手小字石垣

■地理院地図 <<https://maps.gsi.go.jp/>>

■自然災害伝承碑についての各種情報紹介ページ

(国土地理院 自然災害伝承碑のページ) <<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>>

📍 地図への掲載には、**市町村のみなさまからの申請**が必要です。

新たな伝承碑の建立や、地図に掲載のない石碑の情報がありましたら担当までご連絡ください。

管轄：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

●国土地理院 近畿地方測量部

連絡先 06-6941-4507 (代表)

e-mail: gsi-denshou-06-kk@gxb.mlit.go.jp